

神戸市西区におけるアカミミガメ防除活動 —活動に至った経緯と新型餌袋「カメカメナイン」の紹介—

佐藤厚仁

兵庫県神戸市西区神出町 レプタイルズ

Removal of *Trachemys scripta* in agricultural ponds of the Kobe, Hyogo.

By Atsuto SATO

Reptiles, Kande-cho, Nishi-ku, Kobe, Hyogo, Japan

私は幼い頃から自然の豊かな環境で過ごし、ヤギやうさぎ、爬虫類やインコなど沢山の生き物と暮らしてきた。そんな私は、高校生になりスマホを持ち始め、自分の身近な生き物だけではなく日本全国の生き物について学んだ。そして、外来種による影響は大きなものだとことを知った。

学ぶまでは、外来種は単に人の手によって持ち込まれ、本来の生息地から離された生き物だという在来種と分けるためだけにある言葉くらいの認識しかなかった。その外来種がどれほど多くの影響を及ぼすかを知った私は、何かできることはないかと調べた。そこで知ったことは、神戸市が行うアカミミガメ防除活動の支援事業の存在だ。

その支援事業に、レプタイルズという団体に応募し、2022 年から神戸市西区神出町近辺のため池を中心にアカミミガメ防除活動を開始した。以下に、2022 年度から 2024 年度に行った誘引罟での防除と誘引罟に施した工夫について紹介する。

2022 年度と 2023 年度は、誘引用の餌に鯛のアラ、ツバスのアラや切り身などを使用し、それらを餌袋に入れて、誘引罟による捕獲を行った。そこで感じた欠点は、切り身は餌持ちが悪く、匂いが長続きしないため、あまり防除効率が良くないということだ。また鯛のアラでは匂いが出にくい

のか、罟に入るカメの個体数が少なかった。しかし、ツバスのアラは、切り身や鯛のあらとは違い、餌持ちもよく身がなくなっても骨の匂いなどで誘引効果が長く続き、誘引罟での捕獲に適していると感じた。

このように誘引罟での捕獲では、適している餌とそうでない餌があるとわかった。しかし、どのような餌を使用したとしても変わらない 1 番大きな欠点がある。それは誘引罟に使用されているほとんどの餌袋では、餌持ちが悪く、破られやすいという点だ。そこでその欠点を改善するため、2024 年に餌袋の改良を試みた。用意したのは、ダイソーで販売されている「ワイヤーネットカゴ」と「どんとキャットロング」だ(2 点ともダイソーの実際の商品名)。

この 2 つの商品を組み合わせることで、できたものが図 1 のような餌カゴだ。そして、私はこの餌カゴに名前を付けた。その名もカメカメ 9(カメカメナイン)だ。カメがエサを噛めない→カメカメない→カメカメ 9 ということだ(9 は、私の学生時代の出席番号)。この餌カゴは以下の 3 つのメリットがある(図 2)。①私の使用した 4 種類の誘引罟(3 つのサイズの異なるカニカゴと、溺死防止のための袋状の網が付いているカメ捕獲用のカメもんどり)全ての骨組みにジャストフ

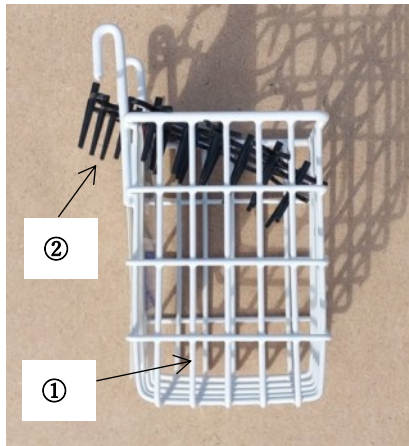


図 1. ダイソーで販売されている「ワイヤーネットカゴ①」と「どんとキャットロング②」で自作した新型餌袋「カメカメナイン」

イットする (図 2 A). ②餌が取られないかつ餌カゴが破られない, すなわち餌持ちがよい (図 2 B). ③使用した「ワイヤーネットカゴ」は 3 種類のサイズのものがあ, 大きなアラや冷凍の餌などある程度のサイズの餌に対応できる (図 2 C). この餌カゴによって, 短時間で餌を取られることがなくなり, 防除効率が向上し, 餌代等の節約にもつながったと感じた.

その結果, アカミミガメの防除個体数は, 2022 年度 371 匹, 2023 年度 566 匹, 2024 年度 1287 匹と, 捕獲にかけた労力は年によって違うが (概ね 7 月から 8 月の間に捕獲を実施), 2024 年度はさらに多くのアカミミガメを防除することができた. また, アカミミガメとの餌や環境の競争に負けてきたニホンイシガメが過ごしやす環境に近づいたのか, 2023 年度には 1 個体しか確認できなかったニホンイシガメが, 2024 年度には 3 個体確認することができた. 今後も改善点を見つめながら, より効率の良い方法でアカミミガメ防除活動を続けていきたい.

本活動は, 神戸市の自然環境保全活動支援事業

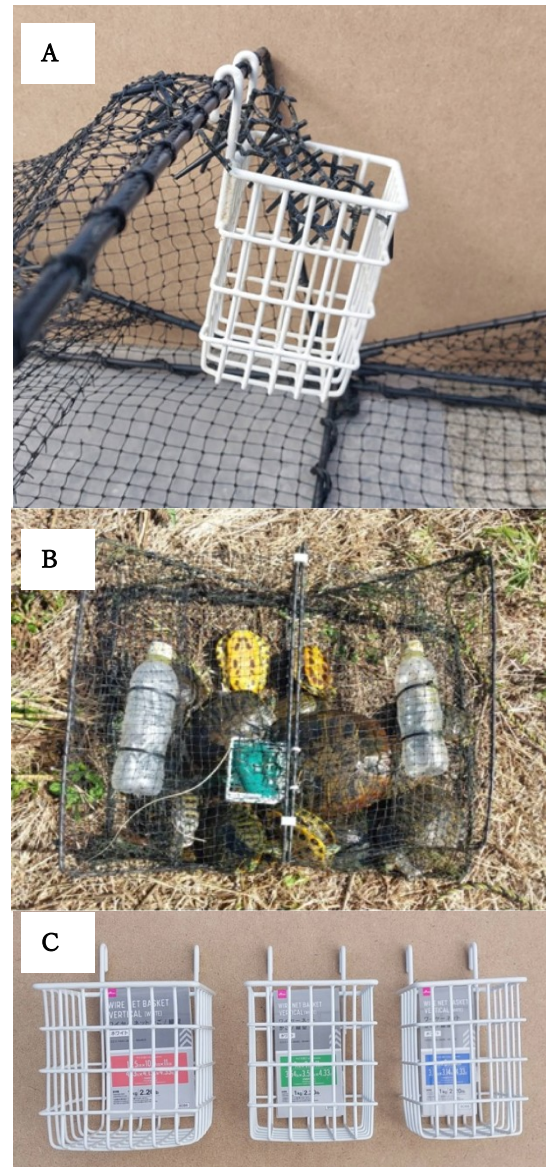


図 2. 新型餌袋「カメカメナイン」の 3 つのメリット. A: 罠の骨組みにジャストフィットする. B: 餌が取られないかつ餌袋が破られない. C: ダイソー商品「ワイヤーネットカゴ」は 3 つのサイズがあり, 様々なサイズの餌に対応可能.

アカミミガメ防除活動の補助金により実現することができました. また本活動にあたり, 自然回復の皆様, 神戸市西区神出町水利組合の皆様にご協力いただきました. ありがとうございました.